

社会科学習指導案

日 時 平成 25 年 9 月 27 日 (金) 5 校時
学 級 3 年 男子 4 人
授業者 教諭 宮 田 博 文

1 単元名 第 3 章 現代の民主政治と社会 1 節 現代の民主政治

2 単元について

(1) 教材について

本単元では、学習指導要領における (3)「私たちと政治」のイにあたる「民主政治と政治参加」の内容を取り扱う。

「民主政治と政治参加」については地方政治から国の政治と国の政治から地方政治という二つの指導方法が考えられるが、教科書と同様に国の政治から地方政治の流れで指導していきたい。

本単元は第 1 節から第 3 節で構成されている。第 1 節では日本の民主政治の基礎的な制度、第 2 節では日本の国の統治機構、第 3 節では地方自治制度について取り上げている。この三節を通して日本の政治のしくみや世論の形成、地方自治のあり方について理解を深めさせたい。また、一人一人が政治に対する関心を高め、主権者であるという自覚を深め、主体的に社会に参画する態度を育みたい。

(2) 生徒について

まじめに学習に取り組む生徒たちである。社会科や社会的事象への興味・関心は高く、日常から興味・関心を伸ばすために、朝の短学活で「今日のニュース」という項目を設けて内容と感想を発表するなどしている。公民分野に入り、歴史・地理分野に比べ基礎・基本となる用語の定着が難しく個人差がある。

本単元の「民主政治と政治参加」については生活環境から情報量が少なく、実社会での経験値も少ないと思われる。研究から話し合い活動を取り入れた授業も試みているが、考え方が画一的になる傾向が強い。

(3) 指導にあたって

歴史的背景などから民主政治の意義について改めて考えさせたい。その上で、現代における日本の民主政治の実情について国の政治、地方の政治から理解を深めさせたい。実生活の情報量が少ないため資料収集に努め、できるだけ身近な問題から視野を広げていく授業を展開していきたい。話し合い活動も現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自分の考えを発表する場の設定を多くし、民主政治に参画する態度を育んでいきたい。

(4) 本単元で育てたい表現力

《話す力》

- ・現代の民主政治の特徴や課題について、根拠を持って論理的に話すことができる
- ・学習したことを基に、主体的に社会に参画することを表現することができる

《聞く力・話し合う力》

- ・民主主義の意義や政治へ参画することについての基礎的な知識を基に、グループで話し合う活動を通して、多面的・多角的に考えることができる

《書く力》

- ・資料から適切な情報を取り出し、要点をメモしたり、書き写すことができる
- ・単位時間毎に授業で学んだことを再構成し、まとめることができる

3 単元の目標

【社会的事象への関心・意欲・態度】

身近で具体的な事例を通して政治に関心を持たせ、主権者として積極的に政治に関わっていかうとする意欲と態度を育てる。

【社会的な思考・判断・表現】

議会制民主主義や住民自治の意義などについて考えさせる。良識ある主権者としての政治参加へのあり方について考えさせる。

【資料活用の技能】

新聞記事や統計資料などを活用し、日本の政治の動きを多面的・多角的にとらえさせる。

【社会的事象についての知識・理解】

国会を中心とする日本の民主政治のしくみのあらましや、地方自治の基本的な考えについて理解させる。

4 指導計画

第3章 現代の民主政治と社会 22時間

第1節 現代の民主政治	6時間	第2節 国の政治のしくみ	9時間
1 市長になって考えてみよう		第3節 地方の政治と自治	7時間
2 民主主義と政治			
3 政党と政治			
4 選挙のしくみと課題	2時間扱い		
選挙の課題	(本時)		
5 政治参加と課題			

小学校社会科とのかかわり

小学校社会6年生下(教育出版)

第5章 暮らしの中の政治 2 憲法とわたしたちの暮らし

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・選挙制度の課題について調べることにより，選挙は国民が政治に参加する重要な機会であることを理解することができる
- ・選挙制度の改善策を討論することにより，良識ある主権者として主体的に政治に参画する態度を表現することができる

(2) 研究とのかかわり

《表現活動の場の設定と指導の工夫について》

- ・投票率低下の要因について根拠を持って話すことができる
- ・主体的に政治に参画する態度を表現することができる

《書く活動》

- ・資料から要点を的確に読み取り，書き留めることができる
- ・キーになる語句を使ってまとめることができる

《コミュニケーション，伝え合いの場の設定と工夫》

- ・討論の場において，自分の考えを入れて話すことができ，他者の発表を聞き多面的・多角的に考えることができる

(3) 具体のの評価基準

社会的思考・判断・表現	努力を要する生徒への手立て
投票率低下について調べていく中で，選挙は国民が政治に参加する重要な機会であることを理解し，まとめることができるか	資料から読み取れたこと，交流から学んだことを振り返り，キーである言葉と関連付けさせながら支援する
意欲・関心・態度	努力を要する生徒への手立て
将来，良識ある主権者として主体的に政治に参画する態度を表現できるか	自分や社会にとってより良くするために，自分にできることを，再度考えさせる

(4) 展開案

段階	学習内容と学習活動	教師の指導・支援	評価・留意点
導入 5分	1, 資料から本時の課題に迫る	投票率が下がってきている 資料の提示 ・投票率低下のグラフ ・投票率低下の新聞記事等	資料活用
	2, 学習課題を把握する なぜ、選挙の投票率が下がってきているか。また、その改善策について考えよう		
展開 35分	3, 課題の前半部分についてノートに予想を立てる	どのような根拠から予想したか、確認する	
	4, 教科書、資料から投票率低下について調べる	資料から要点を的確に読み取らせる	資料活用 《書く力》
	5, 投票率低下の要因について探求する	資料から読み取ったことを基に社会的事象や数的なものから根拠を持たせ考えさせる	社会的思考・判断・表現 《話す力》
	6, 投票率低下に対する国の対策について調べる	国の対策について補充し、説明する	知識・理解
	7, 選挙の課題と改善策について討議する	投票率低下によって生ずる国民の影響を考えさせ、深めさせる	社会的思考・判断・表現 《話す力》 《話し合う力》
終末 10分	8, 学習課題についてまとめる	キーワードを示す	
	投票率低下は政治に対する関心が薄くなってきているからと考えられる。選挙に1票を投ずることは、より良い社会を築くための自分の意志を反映させる数少ない機会であることを一人一人が認識する必要がある。		《書く力》
	9, 学習を振り返り、自分の考えを発表する	主体的に政治に参画する態度を表現させたい	関心・意欲態度 《話す力》